

紫金山・アトラス彗星 (C/2023 A3 /Tsuchinshan-ATLAS/ツチンシャン・アトラス彗星) が、地球に接近しています。2023 年の始めに、中国南京にある紫金山天文台と、南アフリカの小惑星地球衝突最終警報システム (ATLAS) によって独立して発見されました。10 月上旬には明け方の東の空に見えていましたが、昨日あたりから、夕方の西の空に出現するようになりました。

彗星の観望・撮影は厄介です。太陽から遠いうちは、一晩中天球上にあるのですが、尾も短く（またはまったく見えず）等級も暗いので、大口径の天体望遠鏡がないと観測できません。太陽に近づくと、太陽の反対方向に尾が伸びて、彗星によっては肉眼でも見えるようになります。しかし、位置的に太陽に近いので「日の出直前」

か「日没直後」にしか観測できないのです。内惑星の一つ金星の「明けの明星」「宵の明星」と似ています。金星を真夜中に観測できないように、明るい彗星も真夜中には見えないのです。

2024 年 10 月 13 日の夕刻、北軽井沢はやや雲が多かったのですが、幸い西の空には晴れ間がありました。18 時過ぎには彗星が見えると計算していたのですが、雲が邪魔していました。やっと撮れたのがこの写真です。明るいコマ（彗星本体）と、左上に伸びる尾が写っています。恐らく長大な尾を持つ彗星なのだと思います。北軽井沢では肉眼でもかすかに見え、双眼鏡でははっきり確認できました。これから数日が見ごろなので、是非 18 時過ぎの西の空を探してみてください。次回この彗星が接近するのは、20 万年以上先のことなのです。

(2024 年 10 月 13 日  
18:05 頃／北軽井沢)

